

# 再検証! ヒトマロ像と歌仙絵

## — 歌仙絵はどのように生まれたか —



奈良・平安の御代に活躍した歌人たちより選ばれし、三十六人の歌仙たち。11世紀前期の歌人・藤原<sup>ふじわら</sup>公任<sup>きんとう</sup>が著した『三十六人撰』が、その後の歌仙たちのイメージをリードし、伝承されてきました。その後、歌仙絵が誕生。もちろん、その当時には現在のような写真や映像技術は無かったため、画家が彼らの姿かたちを具体的に描きとどめました。では画家たちは、逢うことのできない過去の歌人たちをどのような方法で描いたのでしょうか。今日、伝存している歌仙絵より、制作現場の実像を検証します。さらに、歌聖と称された歌仙第一位の柿本人麿においては、神像としての特別扱いを受け、単独の画像として描かれました。その時代背景についても具体例と共に考察します。休館日の美術館で、ゆったり、じっくりと学ぶ特別なひと時をお過ごしになりませんか。

講師： 笠嶋忠幸 (出光美術館学芸課長)

学習院大学大学院(美術史学専攻)修了。博士(美術史学)。専門は日本絵画および書跡。「書の流儀II—美の継承と創意」(2017年)、「文字の力・書のチカラIII 書の流儀」(2016年)、「文字の力・書のチカラII—書と絵画の対話」(2013年)などの展覧会を担当。

### 講座スケジュール

2018年7月9日(月)

① 午前10時30分～12時30分 (入場午前10時より 閉場午後1時30分)

② 午後2時～4時 (入場午後1時30分より 閉場午後5時)

- \* いずれも講座の内容は同じです。
- \* 講義レベルは、大学での講義に準じます。
- \* 各回とも講座のなかで、煎茶とお菓子の休憩時間を設けております。

募集人員： 各回 先着30名  
(定員になり次第締め切らせていただきます)

受講料： 2,500円 (入館料・資料代/煎茶・菓子付)

会場： 出光美術館  
東京都千代田区丸の内3-1-1 帝劇ビル9階  
(出光美術館専用エレベーター9階)

申込方法： 当館ミュージアムショップにて事前にお申し込みください。  
\* 電話等での申し込みはお断りしております。

- \* お申し込み時に講座日時指定の受講票をお渡しいたします。当日ご持参の上、美術館受付にてご提示ください。
- \* お申し込み後の変更、キャンセルはお受けできませんので予めご了承ください。
- \* その他、ご質問等ございましたら、出光美術館学芸課内、特別講座事務局までお問い合わせください。